

目次

| | |
|--------------------------------------|----|
| 平成19年度 継続教育プログラム報告 | 1 |
| 2007 継続教育プログラムに参加して -参加者の感想- | |
| 沖縄リハビリテーションセンター病院 山本 三紗 | 2 |
| 岩手県立宮古高等看護学院 山崎 淳子 | 2 |
| 2007 継続教育プログラム：リハビリテーション専門看護コース | |
| I. リハビリテーション看護概論 | |
| -最近のリハビリテーション医療の動向と看護の課題- | |
| 茨城県立医療大学 野々村 典子 | 3 |
| II. フィジカルアセスメントと看護観察 | |
| -呼吸器のアセスメント 正常と異常- | |
| 茨城キリスト教大学 石川 ふみよ | 5 |
| III. ポジショニングとトランスファーの実際（動作介助の基本） | |
| 東京天使病院 齋竹 一子 | 6 |
| IV. 廃用症候群のある人の看護 | |
| 廃用症候群とは | |
| 厚木看護専門学校 宮内 康子 | 8 |
| 看護の実祭 -事例- | |
| 事例報告① 神奈川リハビリテーション病院 柴山 純子 | 9 |
| 事例報告② 神奈川リハビリテーション病院 長堀 エミ | 12 |
| V. 特別講演 トータルケアとしての廃用症候群の予防 | |
| 筑波大学大学院人間総合科学研究科 紙屋 克子 | 15 |
| 平成19年度公開研修会 | |
| 第18回公開研修会講演：リハビリテーション看護を必要とする人の心理的特徴 | |
| 新潟県立看護大学 粟生田 友子 | 18 |
| 第18回公開研修会シンポジウム | |
| 廃用症候群をめぐって -急性期から在宅までのケアをつなぐ- | |
| 急性期の立場から 神奈川リハビリテーション病院 天沼 美智子 | 21 |
| 回復期の立場から 戸田中央リハビリテーション病院 倉持 玲子 | 22 |
| 在宅ケアの立場から 茨城県立医療大学看護学科 白坂 書子 | 23 |
| 参加者の感想 NTT 東日本伊豆病院 山本 佳央理 | 25 |

リハビリテーション看護実践研究 第2回研究発表会

テーマ：廃用症候群の予防 -QOL向上を目指して-

| | |
|--------------------------------------|----|
| 廃用症候群をきたした高齢患者のADL拡大に向けた看護 | |
| 岩手県立大東病院 中澤 エミ他 | 27 |
| 意識障害患者の廃用症候群の予防-SCUにおけるチームアプローチの一例- | |
| 国家公務員共済組合連合会三宿病院 佐野 めぐみ他 | 29 |
| リハビリテーション目標の共有による介入の効果 | |
| -食べたい・動きたいという思いを尊重して- | |
| いわてリハビリテーションセンター 藤井 あゆみ他 | 31 |
| 在宅療養が困難と思われた患者へのアプローチ | |
| 戸田中央リハビリテーション病院 有路 さつき他 | 35 |
| 原著論文 | |
| 回復期リハビリテーション病棟退院後在宅で生活する脳卒中後遺症者が抱く思い | |
| 金沢大学看護教諭特別別科 風間菜々子他 | 38 |
| こんなところで | 45 |
| 愛知県厚生連足助病院 | |
| 本の紹介 | |
| 安全に楽しく食べるためのガイドブック | 46 |
| トピックス | |
| 第44回日本リハビリテーション医学会学術集会 看護フォーラム | |
| 札幌医科大学 奥宮 暁子 | 46 |
| お知らせ | 49 |
| 次回総会のお知らせ | |
| 編集後記 | 49 |
| 規程 | |
| 国際リハビリテーション看護研究会会則 | 50 |
| 編集委員会規定 | 52 |
| 「国際リハビリテーション看護研究会誌」投稿規定 | 53 |
| 原稿執筆要領 | 55 |
| 入会申し込み | 57 |